

日本学術会議土木工学・建築学委員会 分科会活動報告

分科会名	インフラ健全化システム分科会	委員長名	依田照彦
活動予定期間	平成 26 年 10 月 ～ 平成 29 年 9 月		
委員構成	(委員 12 名) 天野 玲子、家田 仁、落合 英俊、嘉門 雅史、栗本史雄、桑野 玲子、小林 潔司、小松 利光、小峯 秀雄、前川 宏一、南 一誠、依田 照彦		
活動の目的	<p>わが国の構築環境 (Built Environment) の老朽化が進む中で、国民の命を守るために、社会資本を戦略的に維持・管理することが求められている。巨大地震が切迫し、気候変動による災害等が激甚化する中で、人口減少を視野に入れつつ、安全・安心で快適・効率的な社会を支えるためには、次世代に続くインフラの構築が必要不可欠である。その実現にあたっては、インフラの診断・評価・維持管理の技術開発、アセットマネジメントの高度化等により、膨大な数のインフラを効率的に低コストで保全する仕組みが必要となる。</p> <p>適切な老朽化対策によりインフラを維持し、予防保全・長寿命化によりインフラの健全化を促進し、イノベーションにより安全・安心で快適・効率的な次世代に続くインフラを構築することを分科会の目的とする。</p>		
これまでの活動状況	<p>1) 第 1 回分科会を平成 27 年 3 月 3 日に開催 ・インフラ健全化システム分科会の活動方針についての審議。 ・分科会の運営マニュアルの紹介。</p> <p>2) 第 2 回分科会を平成 27 年 6 月 2 日に開催 ・南委員 (建築分野)、前川委員 (土木分野) より話題提供があり、審議。 ・国土とインフラのメンテナンスに関わるデータストックの問題について、家田副委員長から話題提供。その後、提言作成に向けての具体的方策を審議</p> <p>3) 第 3 回分科会を平成 27 年 9 月 28 日に開催 ・分科会の戦略的提言に関する審議</p> <p>4) 第 4 回分科会を平成 27 年 12 月 21 日に開催 ・提言案たたき台を国土交通省に意見照会した打合せの結果 (12 月 7 日) をもとにした提言案メモについて審議した。</p> <p>5) 第 5 回分科会を平成 28 年 4 月 25 日に開催 ・「インフラメンテナンスの最近の話題」と題して、国土交通省総合政策局公共事業企画調整課 事業総括調整官 佐藤寿延氏より話題提供をいただき、提言に関する議論を行った。</p> <p>6) 第 6 回分科会を平成 28 年 8 月 30 日に開催 ・「地盤情報に関する最近の動向」と題して、産業技術総合研究所名誉リサーチャー 栗本史雄氏より、話題提供をいただき、議論を行った。その後、栗本史雄氏を特任連携会員に推薦することが諮られ、承認された。</p> <p>7) 第 7 回分科会を平成 28 年 11 月 15 日に開催 ・提言案メモを報告あるいは記録とすることを決定。公開シンポジウムの企画を審議。</p> <p>8) 第 8 回分科会を平成 29 年 1 月 23 日に開催 ・4 月 27 日開催予定の公開シンポジウム「地質地盤情報の共有化を目指して」の企画について審議、基調講演者及びパネリストの調整。</p>		
今後の活動計画と目標とする成果	平成 29 年 4 月 27 日に日本学術会議講堂にて、シンポジウムを開催するとともに、その成果を踏まえて分科会報告をまとめる。		

